

昭和38年4月、旧遠野市消防団に入団して以来、40年にわたり消防活動に尽力しました。平成11年4月には団員の強い要請により、第8分団長に就任。消防器具を配備するなど消防力の強化に力を注いだほか、豊

富な経験を生かし婦人消防協力隊の指導育成などにも取り組んできました。菊池さんは「常に火災予防を意識し活動してきました。今後も市の防災活動に取り組んでいきます」と抱負を語りました。

瑞宝単光章 ＝消防功勞＝

菊池實 さん
(75歳、上郷町)



春の叙勲・褒章

日々の努力や長年の功績が評価され、
栄光に輝いた8人の皆さんをご紹介します。

勲章・褒章制度とは

国家または公共に対する功勞および社会の各分野における優れた行いをした人を称える制度。春は4月29日、秋は11月3日に受章者を発表。受章者は、天皇陛下から勲章、褒章が授与されます。



瑞宝単光章 ＝児童福祉功勞＝

松田雅江 さん
(67歳、綾織町)

昭和43年4月、遠野市保育協会に保育士として就職して以来、37年にわたり乳幼児の福祉向上に尽力しました。退職後は、厚い人望から地域に推され、民生・児童委員、さらには児童館長などの要職を歴任し、地

域福祉の向上にも貢献。松田さんは「地域の皆さまの協力、家族の支えがあったからこそ受章できました。これからも、地域の皆さまとともに子どもたちの成長を見守っていききたい」と受章を喜びました。

黄綬褒章

40年にわたり宮大工として業務に精励し、活躍したことが評価されました。国内外の社寺・文化財建築に携わるほか、海外で技術指導を行うなど職人の育成にも尽力されました。

中学校を卒業後、家大工の道へ。福泉寺の鐘楼堂の工事がきっかけで社寺建築の世界へ飛び込みます。昭和48年、最後の宮大工と称された西岡常一棟梁(故人)

の元へ弟子入り。お茶出しをしながら棟梁の技術や考え方を学び、修業に励みました。その後独立し、平成2年に社寺工舎(松崎町)を設立。これまで25人の弟子を取り、10人の棟梁を育て上げました。菊池さんは「師匠や先輩から受け継いだ技術を後輩に伝えるのが私の使命。今後も技術を磨き人材育成に努めたい」と抱負を語りました。



菊池恭二 さん
(62歳、松崎町)

昭和40年4月、岩手県警察学校に入学して以来、35年にわたり警察官として県民の安心・安全を守ってきました。在職中は、刑事部捜査第一課の機動捜査隊を務めるなど、犯罪現場の第一線で活躍しました。その

経験を生かし、退職後は岩手県交通安全協会の活動にも参加。木村さんは「多くの犯罪現場を目の当たりにし、命の尊さを実感した。今後も防犯活動に取り組み、地域を見守っていきたい」と抱負を語りました。

瑞宝単光章 ＝警察功勞＝

木村浩太郎 さん
(72歳、宮守町達曾部)



隊の発展に貢献しました。「国民の平和を第一に考え、隊員の育成などにあたってきました。諦めず真面目に取り組むことの大切さを教えてくれた上司や同僚、家族に感謝します」と受章を喜びました。



旭日双光章 ＝地方自治功勞＝

及川裕允 さん
(70歳、松崎町)

昭和54年4月、旧遠野市市議会議員に初当選して以来、通算6期24年にわたり市議会議員として活躍しました。この間、旧遠野市議会副議長や議会運営委員会委員長、産業建設常任委員会委員長などの要職を歴

任。議会運営の向上と市政の発展に貢献しました。及川さんは「自分の力だけではなく、多くの方々の支えがあったからこそ受章できました。原点に戻り今後も精進していきたい」と抱負を語りました。



瑞宝単光章 ＝防衛功勞＝

東平一彦 さん
(61歳、中央通り)

昭和46年3月、陸上自衛隊に入隊して以来、36年にわたり国民の安心・安全を守ってきました。神奈川地方協力本部准陸尉などの要職を歴任。自衛隊の広報活動や隊員の募集・教育環境の充実を図るなど、自衛



佐々木敦緒 さん
市農業委員会事務局
前事務局長



全国農業会議所が発行する「全国農業新聞」の普及拡大に尽力しました。農政や生産技術などの最新情報を掲載する同紙の有用性を理解し、農業委員と協力しながら積極的に普及活動を展開。農家の経営改善と意欲向上に貢献しました。

各種表彰

全国農業会議所表彰 全国農業新聞普及・情報活動功勞賞

文部科学大臣表彰 平成26年度子どもの読書活動優秀実践表彰

遠野市立図書館

小学生を対象にした図書館教室、小・中学校や児童館などへの図書貸し出しサービス、ボランティアと連携した読み聞かせ活動など、読書活動の推進の取り組みが高く評価されました。

今後も、市立図書館を拠点にさまざまな活動を展開してまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。



P18もご覧ください



瑞宝双光章 ＝看護業務功勞＝

菊池洋子 さん
(61歳、青笹町)



昭和49年4月、旧国立仙台病院に就職して以来、39年にわたり看護師として医療現場を支えてきました。この間、東北各地の旧国立病院で看護業務にあたり、総看護師長や看護部長などの要職を歴任。後輩の看護

師の育成にも尽力しました。退職後は、市の非常勤看護師としても勤務。菊池さんは「患者の視点に立ったケアを心がけてきました。先輩や同僚、家族の協力のたまものです」と受章を喜びました。

瑞宝単光章 ＝消防功勞＝

岩間幸雄 さん
(66歳、上郷町)
※P25もご覧ください



昭和42年8月に東京消防庁に入庁。昭和44年12月からは旧遠野市消防本部消防士として消防活動に尽力し、41年8月にわたり地域の安心・安全の確保に貢献してきました。退職後は、市の地域活動専門員と

して自主防災組織の指導などに取り組んでいます。岩間さんは「多くの方々の支えがあったからこそ受章できました。気持ちを新たに今後も安全な地域づくりに取り組んでいきたい」と決意を新たにしました。